

【地域の概要】

- 岐阜県の南西部に位置し、木曽・長良の2大河川に囲まれた輪中地帯である。
- 本市の中央部に市街化区域が位置づけられ、市街化区域の北と南には農業振興地域が広がっている。
- 稲作を中心とした農業であり、北地域は個人の担い手、南地域は法人や個人の担い手中心となって耕作を行っている。

①取組開始前の状況や課題

課題

○農業従事者の高齢化や後継者不足、市外在住の農地所有者の増加により、遊休農地の増加が懸念される。

○担い手が効率的な耕作を行うため農地所有者に働きかけをしたくても所有者が市外在住などにより利用調整がなかなかうまくいかない。

状況

- 遊休農地面積
・ 3.3ha 割合0.16%
- これまでの担い手への集積面積
・ 817ha 集積率40.8 %

②取組内容

日常的な農地見守り活動

○日頃から農業委員・農地利用最適化推進委員は、市内や担当地域の農地を見回り、遊休農地の発生防止に努めた。

○9月から10月にかけて利用状況調査を地域の農業委員・農地利用最適化推進委員とともに実施した。



利用状況調査の様子

意向調査に基づく利用調整

○担い手の借り受け希望のある農地について、農地所有者に意向確認を実施し、利用調整を図った。

③今後の展開と方向性

見守り活動を強化

○農業委員・農地利用最適化推進委員に日頃の農地の見回りを継続することで、遊休農地の発生防止に努める。

委員の関与による農地利用調整

○農業委員は担い手である方も多く地域の現状にも詳しいため、農地所有者の意向把握や委員同士の情報共有や事務局への情報提供等により、遊休農地の発生防止や農地中間管理機構への貸付けを掘り起こす。

普及・啓発

○市広報やホームページを活用し、遊休農地の発生防止の啓発を行う。